

学校だより

さくらっ子

四日市市立桜小学校
平成31年1月21日
第26号

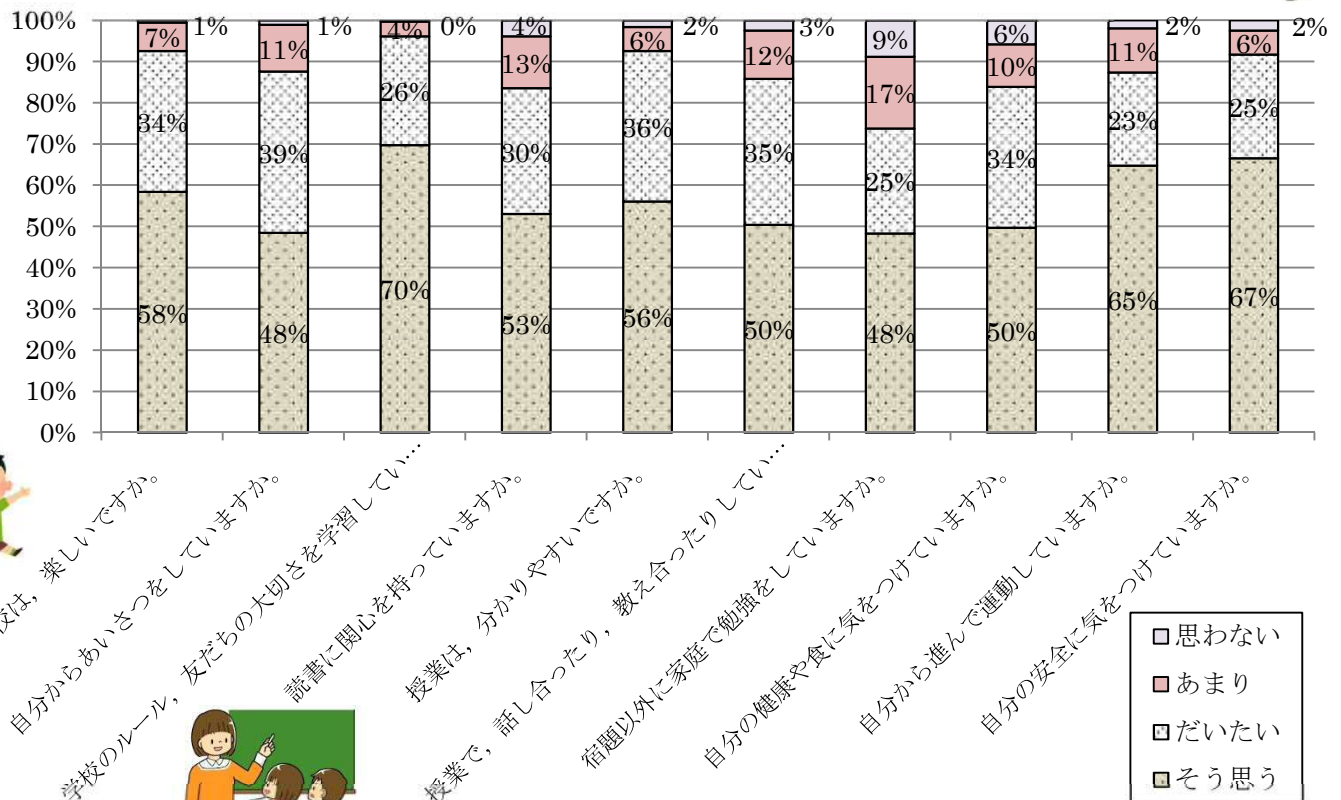


3学期がスタートしてあっという間に3週目に入りました。冬本番の寒さが続き、インフルエンザが流行の兆しをみせています。手洗い・うがいに取り組むなど、体調管理にご配慮いただきたいと思います。

さて、2学期末に全校児童と保護者の皆さまを対象に実施しました本校の教育活動に関するアンケート結果と考察を発表します(表:児童, ウラ:保護者)。これらの結果や貴重なご意見をもとに、成果や課題を振り返り、今後の教育活動に活かしていきます。アンケートのご協力ありがとうございました。



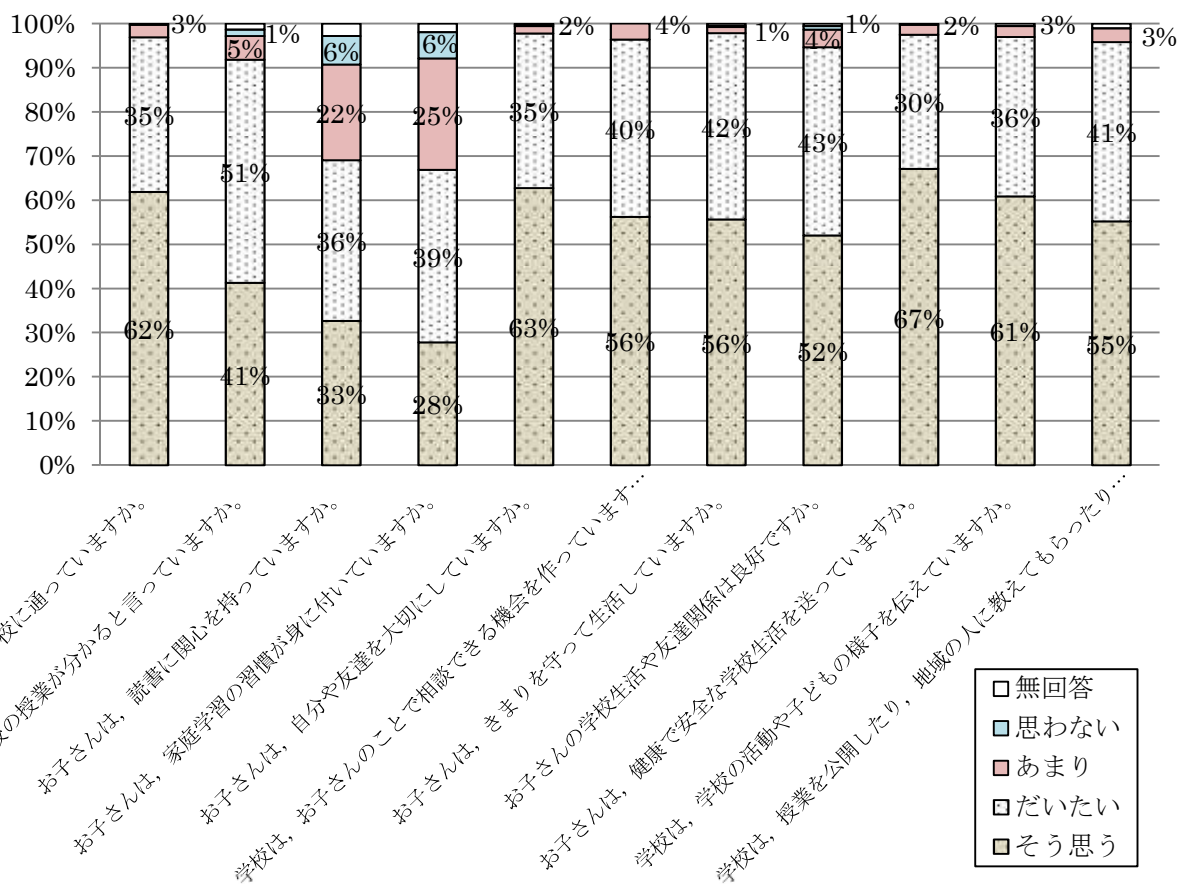
平成30年度 児童アンケートの結果より



考察【児童アンケート】

- 「学校は楽しいですか」の問いには、昨年度と同じく92%が肯定的な回答(「そう思う」「だいたい」)です。児童の多くが楽しく学校に通っているのはうれしいことです。全員が楽しいと感じることができるように、一人一人の思いに寄り添った指導や取り組みをさらに進めていきます。
- 「学校生活や社会のルール、友だちの大切さについて学習していますか」の問いでも、昨年度同様に96%が肯定的な回答です。さくらっ子のほとんどが、きまりを守り仲間と協力しながら真面目に学校生活を送っています。約束や規律を守り、友だちを大事にする意識を今後も大切に育てていきます。
- 「授業がわかりやすいですか」には、92%が肯定的です。昨年度より5ポイント上昇しており、本校の研修テーマとして進めているユニバーサル・デザインの授業づくり(焦点化・視覚化・共有化により「わかった」「もっとやりたい」と感じるような取り組み)が定着してきたものと手ごたえを感じます。
- しかし、「授業で友だちと話し合ったり、教え合ったりして学習していますか」の問いには、肯定的な回答が昨年度より3%低い85%にとどまっています。学習課題を明確にして、ペアやグループなど少人数で話し合う活動を充実させて、自信をもって友だちと意見交流ができるように工夫します。
- また、「宿題以外に家庭で勉強をしていますか」には、肯定的な回答が73%と昨年度より20ポイント近く下回る結果になりました。「自分から進んで運動していますか」でも、肯定的な回答が88%と昨年度をわずかに下回りました。与えられた課題だけでなく自主的に家庭学習や運動に取り組むように、ご家庭と協力しながら意欲付けを図り、励ましていきたいと考えます。
- 「自分の安全に気をつけていますか」では、昨年度より13ポイント高い92%が肯定的な回答です。学校や家庭で登下校の安全について繰り返し指導を重ねてきた成果であると考えます。

平成30年度 保護者アンケートの結果より



考察【保護者アンケート】

- 「お子さんは、楽しく学校に通っていますか」では、97%が肯定的な回答です。また、「お子さんの学校生活や友達関係は良好ですか」では、95%が肯定的です。ほとんどのご家庭で楽しく学校に送り出していただき、友達関係も良好であると捉えていただいていることがわかります。もし、お子さんの様子で気になることなどがありましたら、どんなことでも学校にご相談いただきたいと思います。
- 「お子さんは、学校の授業が分かると言っていますか」では、92%が肯定的な回答です。児童の結果と同じく高い数値になりました。お子さんの家庭学習の様子をときどき見ていただくなどして、授業の理解を確かめ、意欲が持てるように引き続き励ましていただきたいと思います。どうしてもわからないことがあったら、「友だちや先生に聞いてごらん」などとアドバイスをしていただけるとありがたいです。
- 「学校は、家庭訪問や個人懇談会、教育相談などでお子さんのことで相談できる機会を作っていますか」では、96%が肯定的な回答です。何でも気軽に相談できる学校をめざしていますので、たいへん心強く感じます。必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関と連携しながら、今後も保護者の皆さんと一緒に子育てや教育について考えていきます。
- 「学校は、授業参観や学校行事、懇談会、各種通信・ホームページなどで、学校の活動や子どもの様子をよく伝えていきますか」「学校は、保護者や地域の人々に授業を公開したり、子どもが地域の人々に教えてもらったりする機会を作っていますか」については、97%、96%と肯定的な回答の割合が高くなっています。今後も、コミュニティ・スクールの取り組みやPTA活動の成果を活かし、家庭・地域とつながり情報を共有しながら、参画型の開かれた学校づくりを進めていきます。
- 「お子さんは、『朝の読書』や『読み聞かせ』などの読書活動により、読書に関心を持っていますか」では、肯定的な回答が69%にとどまりました。児童についても「読書に関心がある」との肯定的な回答は83%であり、本に親しむ子に育てることが本校の課題の1つであるといえます。図書ボランティアや図書館司書の力も借りながら、読書の楽しさを味あわせるよう工夫します。
- また、「お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか」では、肯定的な回答が67%にとどまりました。児童アンケートの結果同様、家庭学習について課題の残る結果となりました。学校での学びを定着させるためにも、予習・復習など自主的な家庭学習が習慣化するよう学校と家庭で連携していきます。